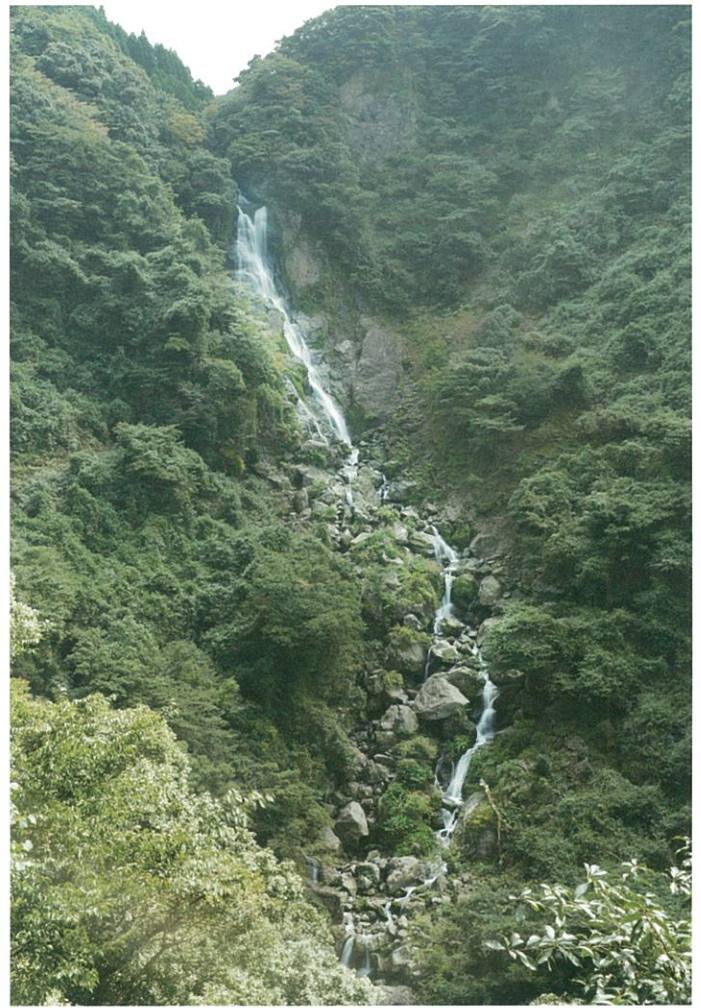


◇ 走水滝 (はしりみずのたき)

領内名勝図巻 第八巻 八代郡高田手永 深水谷 衛藤良行筆

JR 肥薩線の段駅を過ぎて、県道 158 号線を球磨川沿いに約 1 キロさかのぼると右手に赤い橋がある三叉路に突き当たります。左に折れると坂本町の深水地区の集落へと続く山道。集落を抜け、一段と細く曲がりくねった道を、途中途中にある「⇒走水滝」の看板を頼りに 5 キロほど進むと路肩に車 2 台分ほどのスペースがあります。ここから急な下り坂を約 5 分歩くと「走水滝」を一望できる展望台に出ます。滝の落差は 100m 以上あり、流れ落ちる水が白く見えることから「白滝」とも呼ばれていました。《領内名勝図巻》では左右二筋の滝と滝壺が描かれており、「高サ三十五間余(約 63m)」との書き込みがあります。現在の滝の姿と随分違った印象ですが、これは昭和 21 年(1946)の水害で滝の右手の岩肌が大崩落して、水流が変わり滝壺も埋まってしまったからだそうです。その後も小さな崩落や浸食により、滝の様子は徐々に変化しています。



山肌を滑るように水が走る



領内名勝図巻

永青文庫所蔵



現在の風景



所在地：熊本県八代市坂本町深水



ギャラリーに設置してあるタッチパネル式ディスプレイで 4k 画質の動画をお楽しみいただけます